

## News Release

報道関係各位



2024年9月25日  
特定非営利活動法人みやぎセルプ協働受注センター

# 宮城県内で初の認証取得。 登米市内の障害者就労支援3事業所が ノウフク JAS を取得。

～福祉・農業双方の課題解決を図る「農福連携」の推進～

特定非営利活動法人みやぎセルプ協働センター（以下みやぎセルプ、所在地：宮城県仙台市、会長：市川義直）は、宮城県から事業を受託して障害者就労支援事業所の工賃向上を支援するNPO法人です。今回、宮城県で初となる「障害者が生産行程に携わった食品及び観賞用の植物の日本農林規格（ノウフク JAS）」を取得した登米市内の障害者就労支援事業所と共同の取り組みを展開しております。この活動を通じて福祉・農業双方の課題解決を図る農福連携を推進するとともに、仙台市中心部や首都圏への販路拡大、働く障害者の工賃向上を目指しています。

### 3事業所合同お披露目会を開催

宮城県で初となるノウフク JAS 取得を記念し、関係各機関の方々をお招きして3事業所合同のお披露目会を開催する運びとなりましたのでご案内申し上げます。

#### 【ノウフク JAS 取得事業所合同お披露目会】

日時) 10月2日(水) 13:30～14:30  
場所) 宮城県登米市南方町雷 170 (しいたけランド)

#### 式次第

- 1.開会のあいさつ
- 2.ノウフク JAS 取得者あいさつ（3事業所）
- 3.来賓祝辞（登米市長祝辞）
- 4.来賓紹介
- 5.ノウフク JAS 取得の経緯報告と今後の展開(みやぎセルプ報告)
- 6.施設内覧会
- 7.閉会の挨拶

#### ～来賓予定～

- ・登米市長 熊谷盛廣 様
- ・登米市市民生活部 様
- ・登米市産業経済部 様
- ・JA 宮城中央会 様
- ・JA みやぎ登米 様 ほか

### 宮城県初！ノウフク JAS を取得した障害者就労支援事業所

#### ■株式会社ワズ しいたけランド（宮城県登米市南方町）

事業種別：障害者就労継続支援 A 型事業所  
ノウフク JAS 認証：ノウフク生鮮食品（しいたけ／長ネギ／小ネギ）  
ノウフク加工食品（イチゴジャム）

#### ■株式会社ドリーム ドリーム農園（宮城県登米市南方町）

事業種別：障害者就労継続支援 B 型事業所  
ノウフク JAS 認証：ノウフク加工食品（乾燥ねぎ／一味唐辛子／にんにく一味／にんにくチップ／梅しそふりかけ）

#### ■特定非営利活動法人わらいの館四季 Seed company（宮城県登米市迫町）

事業種別：障害者就労継続支援 B 型事業所  
ノウフク JAS 認証：ノウフク生鮮食品（米／長ネギ／かぼちゃ／そら豆／じゃがいも）



<報道関係の方からのお問い合わせ先>

特定非営利活動法人みやぎセルプ協働受注センター 担当：上村 TEL：022-399-6299 MAIL：info@miyagi-selp.org

## 農福連携のこれまで

「農福連携」とは、障害者の農業分野での活躍を通じて農業と福祉が連携し、国内農業における深刻な担い手不足・高齢化の解消と、障害者の就労の機会拡大や自立に向けての社会参画を促進する取り組みです。省庁を横断するこの取り組みにおいて「農福連携等推進会議」を設置し、平成31年4月25日に第1回、令和元年6月4日に第2回会議が開催されました。そこで今後の方向性を「農福連携等推進ビジョン」として取りまとめました。

今年の6月5日には5年ぶりとなる第3回農福連携等推進会議が開催され、「農福連携等推進ビジョン（2024改訂版）」が取りまとめられました。改正食料・農業・農村基本法に農福連携が位置づけられたことも踏まえ、「農福連携等推進ビジョン」に掲げられた取り組みについて、官民を挙げて実践していこうという機運が高まっています。



## ノウフク JAS の誕生

このように農福連携に関する取り組みが拡大していくなかで、生産された農林水産物を規格として定め、その農林水産物が確かなものであることの説明や、ブランド力を高めることが今後さらに農福連携を進展させていくうえで重要となりました。

平成29年度の農林水産省によるJAS法改正により、JASの対象が「生産物の品質」だけでなく、「生産物の生産方式」や「生産物の取扱方法」などにも拡大されることになりました。このように手続きが整備されたことに伴い、農福連携の取り組みによって生産された農林水産物の規格化を図り、平成31年3月に「障害者が生産行程に携わった食品（以下、ノウフク JAS）」が農林規格（JAS）として制定されることになりました。 ※令和6年3月19日には一部改正され、新たに認証品目に観賞用の植物が追加されて「障害者が生産行程に携わった食品及び観賞用の植物の日本農林規格（ノウフク JAS）」となりました。



## 農福連携・ノウフク JAS のこれから

日本の食を取り巻く環境は、気候変動や国際情勢の影響で不安定化し、国内農業では人口減少と高齢化が進んでいます。こうした状況の中、農業と福祉が協力し、障害者などが個々の特性を活かして働く「農福連携」は、これまで以上に重要な取り組みとして注目されています。これにより農業に新たな働き手が加わり、障害者の生活の質向上も期待されます。そのためには、新たな JAS として加わったノウフク JAS を障害者就労施設が取得し、自分たちが作った農林水産物の価値を正しくアピールすること、ブランド力アップのための PR 等も欠かすことはできません。

宮城県初のノウフク JAS 取得となった今回の3事業所をきっかけとして、農業と福祉の連携・企業や大学との連携を進めることで、障害者の工賃向上と、人と地域が元気になる持続可能な社会の実現に向けた取り組みをしていきたいと考えています。



<報道関係の方からのお問い合わせ先>

特定非営利活動法人みやぎセルフ協働受注センター 担当：上村 TEL：022-399-6299 MAIL：info@miyagi-selp.org